

島田市の教育

「令和6年度全国学力・学習状況調査」から見える島田市の子供

1 調査の概要

- ◇目的
 - ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
 - ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇実施日 令和6年4月18日(木)
- ◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生
- ◇調査内容
 - ・教科調査(小学校→国語・算数)(中学校→国語・数学)
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

＜調査結果(平均正答率)を領域別にまとめた。＞

＜平均正答率＞

全設問における正答数の割合を算出した値(個人の正答率)を足し合わせ、子供の人数で割った値

＜記号の見方＞ 全国(公立)平均正答率と比べて

- ◎: +3ポイント以上 ○: +1～+3ポイントまで □: 概ね平均並
- △: -1～-3ポイントまで ▲: -3ポイント以下



国語

小学校は全国を上回る正答率の領域もあったが、全体として全国をやや下回る正答率となった。中学校は概ね全国平均並みの正答率となった。

学校種	全体	領域別			
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	・言葉の特徴や使い方に関する事項(小・中) ・情報の扱い方に関する事項(小・中) ・我が国の言語文化に関する事項(小・中)
小学校	△	△	○	▲	▲
中学校	□	○	□	□	□

小学校 ☆成果 ★課題

- ☆目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が付いてきている。
- ☆情報と情報との関係付けの仕方を理解し使う力が付いている。
- ★人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。
- ★漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

中学校 ☆成果 ★課題

- ☆資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話す力が付いている。
- ☆文の成分の順序や照応について理解する力が付いてきている。
- ☆行書の特徴を理解している。
- ★目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。
- ★表現の技法について理解することに課題がある。

算数・数学

小学校は全国を下回る正答率となった。中学校は全国をやや下回る正答率の領域もあったが、全体としては概ね全国の平均並みの正答率となった。

学校種	全体	領域別			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
小学校	▲	▲	▲	▲	▲

学校種	全体	領域別			
		数と式	図形	関数	データの活用
中学校	□	□	□	△	△

小学校 ☆成果 ★課題

- ☆簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する力が付いている。
- ★除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解に課題がある。
- ★直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解に課題がある。
- ★速さの意味についての理解に課題がある。
- ★示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断することに課題がある。

中学校 ☆成果 ★課題

- ☆問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の計算ができる力が付いている。
- ☆簡単な場面について、確率を求める力が付いている。
- ☆2つグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈する力が付いている。
- ★複数の集団データの分布から、四分位範囲を比較することに課題がある。
- ★事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
- ★筋道を立てて考え、証明する力に課題がある。

(2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること

《よい傾向》

- ☆毎日朝食を食べ、ほぼ決まった時刻に寝起きしている。
- ☆人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ☆学校に行くのが楽しいと思う。
- ☆地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。
- ☆5年生(中学校2年生)までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を多く(週3回以上)活用している。
- ☆5年生(中学校2年生)までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を活用して(自分のペースで・わからないことはすぐ調べ・楽しみながら・友達と考えを共有したり比べたりしながら・友達と協力して)学習している。
- ☆5年生(中学校2年生)までに受けた授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

《力を入れたい》

- ★土曜日や日曜日など学校が休みの日の学習時間を増やす。
- ★普段(月曜日～金曜日)1日当たりのテレビゲームや携帯電話・スマートフォンでのSNS・動画視聴の時間を減らす。
- ★本や新聞を読むことを通して、文字に親しみ、読解力を高める。
- ★自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する。

(3) 今後(継続して)力を入れたいこと

授業について

- ・目標を明確に設定し、子供と共有することで、子供一人一人が課題解決に向けて見通しをもって、主体的に取り組めるようにする。
- ・探究的な学習を重視し、自ら課題を設定し、自分が調べたことや考えたことが伝わるように工夫してまとめ、表現する活動を意図的に取り入れる。
- ・子供自身が学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見つめ、次の学習につなげることができるようにする。
- ・ICT機器を活用し、情報活用能力を養うと共に、情報を共有し協働的に学習を進めていくようにする。
- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解の程度に応じた学びができるようにする。

教育活動全体について

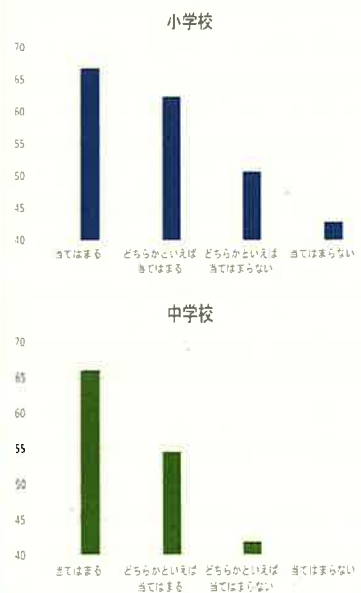
- ・島田市が実践している夢育地育をさらに推進し、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を多くし、島田を愛する心を育む。

※各小中学校からも「学力向上へ向けた学校の取組」を、各学校の実態を踏まえて具体的にお知らせする。島田市の子供に、確かな学力が身に付けられるように今後も努力する。

3 保護者のみなさまへ

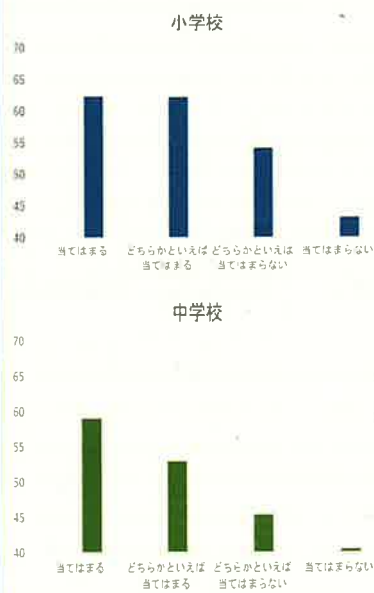
課題解決に向けて、自分で考えて(計画を立てて)学習を進めていたり、周りとの協力しながら取り組んでいたりする子供の方が、平均正答率が高くなる傾向が見られます。また、普段の1日当たりに携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をする時間が平均正答率と関係する傾向が見られます。

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」平均正答率との関係

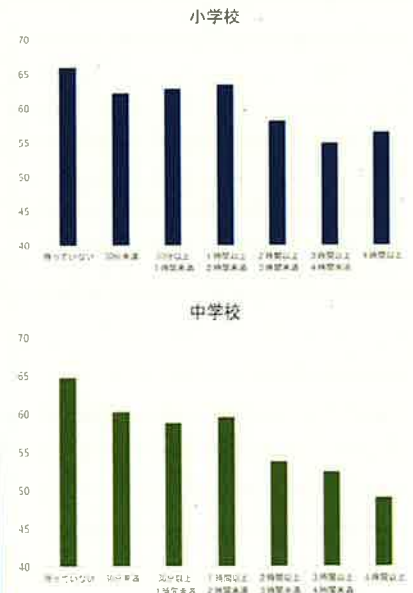


※当てはまらない 正答率40%以下

「友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか。」平均正答率との関係



「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」平均正答率との関係



- ◇日頃から、子供たちが自分で考え、判断をし、行動していくことができるように、子供の考えを聴き、支える声掛けや、頑張り・努力を認める声掛けをしていきましょう。
- ◇社会の動きに関心を持ったり、様々な考えにふれたりすることができるように、子供と社会の出来事やニュースについて話す機会を設けましょう。
- ◇テレビゲーム・携帯電話・スマートフォン・コンピューター等の使い方について、御家庭で話し合い、決めたことを守っているか確認をしていきましょう。